

(再評価)

資 料 2

令和5年度第2回  
関東地方整備局  
事業評価監視委員会

# 一括審議案件資料

1. 一般国道6号 東海拡幅
2. 一般国道15号 蒲田駅周辺整備
3. 一般国道16号 保土ヶ谷バイパス(Ⅱ期)

令和5年9月20日

国土交通省 関東地方整備局

# 令和5(2023)年度 第2回 事業評価監視委員会 一括審議案件一覧

事業区分	事業名	再評価理由 ※1	事業採択	前回評価	全体事業費 (億円)	完成予定年度 ※2	B/C	前回評価からの主な変更点 及び理由	再評価の視点	関係自治体の意見	前回評価時の付帯意見及び対応	対応方針 (原案)
道路	1 一般国道6号 東海拡幅	②	H31	-	110	R12	2.9	前回評価から事業全体に変化は生じていない。	本事業は、交通渋滞の緩和、交通安全の確保、物流生産性向上の支援などの観点から事業の必要性・重要性は高く、早期の効果発現を図ることが妥当と考えます。	(茨城県知事の意見) 一般国道6号東海拡幅は、交通混雑の緩和や安全性の確保とともに、物流機能の強化により、産業振興や地域の活性化などに大きく寄与するものと期待されることから、本事業の必要性は高く、事業を継続することは妥当と考える。 なお、早期完成に向けて、速やかに工事に着手するなど、事業を推進するとともに、徹底したコスト縮減を図るようお願いしたい。	なし	継続
道路	2 一般国道15号 蒲田駅周辺整備	⑤	H13	R2	311	R7	1.3	前回評価から事業費及び事業期間に変更はあるが、事業全体に顕著な変化は生じていない。	本事業は、渋滞の緩和、沿道環境の改善、関連事業との連携による公共交通機関の利便性向上、利用の促進、空港へのアクセス機能強化の観点から、事業の必要性が高く、早期の完成に向け事業を推進することが妥当と考えます。	(東京都知事の意見) 本事業は、混雑していた京急蒲田駅周辺の交通渋滞の緩和に大きく寄与している。 また、沿道環境の改善や駅周辺のまちづくりとの連携による利便性向上の観点から、事業の必要性は極めて高い。 このため、必要な財源を確保し、早期完成に向け、事業を推進されたい。 さらに、事業実施にあたっては、コスト縮減を図るなど、より効率的な事業推進に努めること。	なし	継続
道路	3 一般国道16号 保土ヶ谷バイパス(Ⅱ期)	⑤	H14	R2	643	R9	1.5	前回評価から事業期間に変更はあるが、事業全体に顕著な変化は生じていない。	本事業は、交通渋滞の緩和、物流効率化の支援、生活環境の改善等の観点から、事業の必要性・重要性が高く、早期の完成に向け事業を推進することが妥当と考えます。	(東京都知事の意見) 本事業は、国道16号や並行する町田街道の渋滞緩和に資する重要な事業である。 このため、必要な財源を確保し、早期完成に向け、事業を推進されたい。 さらに、事業実施にあたっては、コスト縮減を図るなど、より効率的な事業推進に努めること。	なし	継続

※1 再評価理由

- ①: 事業採択後3年間に経過した時点で未着工の事業
- ②: 事業採択後5年間に経過した時点で継続中の事業
- ③: 準備・計画段階で3年間に経過している事業
- ④: 再評価実施後5年間に経過している事業
- ⑤: 社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業

※2 費用便益比算定上設定した完成予定年度等。

# (1)一般国道6号 東海拡幅

## 1. 目的

- ・交通渋滞の緩和
- ・交通安全の確保
- ・物流生産性向上の支援

## 2. 事業概要

区間: 自) 茨城県那珂市向山 なかしむこうやま  
 至) 茨城県那珂郡東海村石上外宿 なかがん とうかいむらいしがみとじゆく  
 計画延長・幅員: 3.1km・25.0m  
 車線数: 4車線  
 計画交通量: 32,300~38,800台/日  
 事業化: 平成31年度(2019年度)  
 全体事業費: 約110億円(前回:約110億円)

## 3. 事業の進捗状況等

- ・平成31年度に事業化。令和2年度から用地取得に着手し、県公社の協力も得ながら用地取得を推進。
  - ・当該事業の用地取得率は7%(R5.3末)。
  - ・用地取得を推進し、早期の工事着手を目指す。
- ※社会情勢等について大きな変化は見られない

## 4. 事業の効果等

- ・現道区間の交通渋滞の緩和や交通事故の減少。
- ・重点港湾である「茨城港日立港区」、「茨城港常陸那珂港区」をはじめとする施設に対し、平常時・災害時を問わない物流を確保し、物流生産性向上の支援に寄与。

## 5. 事業の投資効率性

	【事業全体】		【残事業】
	(前回)	(今回)	(今回)
総便益B:	約223億円	約284億円	B:約284億円
総費用C:	約79億円	約98億円	C:約83億円
B/C =	2.8	B/C = 2.9	B/C = 3.4

## 6. 概要図



## 7. 対応方針(原案)

- ・事業継続とする。
- ・本事業は、交通渋滞の緩和、交通安全の確保、物流生産性向上の支援などの観点から事業の必要性・重要性は高く、早期の効果発現を図ることが妥当と考える。

# (2) 一般国道15号蒲田駅周辺整備

## 1. 目的

- 交通渋滞の緩和
- 沿道環境の改善
- 関連事業との連携による利便性向上

## 2. 事業概要

- 区間：自) 東京都大田区南蒲田1丁目  
おおたくみなみかまた  
おおたくひがしろくごう  
至) 東京都大田区東六郷1丁目
- 計画延長・幅員：0.98km・50.0m
- 車線数：4~6車線
- 計画交通量：35,400~48,300台/日
- 事業化：平成13年度(2001年度)
- 全体事業費：約311億円(前回:303億円)

## 3. 事業の進捗状況等

- 当該事業の用地取得率は100% (R5.3末)
- 立体部(4車線)については開通済。
- 残る側道部の擦り付け工事等について、関係機関協議を踏まえた施工に一定程度の時間を要しているところ。  
※社会情勢について大きな変化は見られない

## 4. 事業の効果等

- 国道15号の通過交通が立体部に転換し、環状8号線と交差する南蒲田交差点の混雑が緩和。
- 立体開通前後で、死傷事故発生件数は約6割、事故類型別では追突事故が約6割減少。

## 5. 事業の投資効率性

【事業全体】	(前回)	(今回)
総便益B	604億円	709億円
総費用C	473億円	549億円
B/C	<del>1.3</del>	1.3

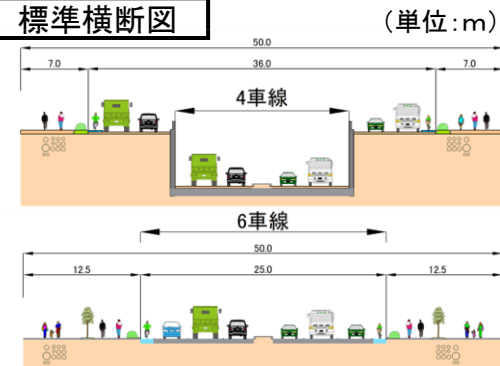
## 6. 概要図



## 位置図



## 標準横断面図



## 7. 対応方針(原案)

- 事業継続とする。
- 本事業は、渋滞の緩和、沿道環境の改善、関連事業との連携による公共交通機関の利便性向上、利用の促進、空港へのアクセス機能強化の観点から、事業の必要性が高く、早期の完成に向け事業を推進することが妥当と考える。



# (3)一般国道16号保土ヶ谷バイパス(Ⅱ期)

## 1. 目的

- ・交通渋滞の緩和
- ・物流効率化の支援
- ・生活環境の改善

## 2. 事業概要

区間：自) 東京都町田市鶴間  
 まちだしつるま  
 至) 東京都町田市鶴間  
 まちだしつるま

計画延長・幅員：2.1km・21.0m(本線部)  
 38.0m~63.0m(一般部)

車線数：4車線(本線部)、4車線(一般部)

計画交通量：45,600台/日

事業化：平成14年度(2002年度)

全体事業費：約643億円(前回:約643億円)

## 3. 事業の進捗状況等

- ・当該事業の用地所得率は100% (R5.3末)
  - ・立体部(本線、ランプ)については開通済。
  - ・残る一般部の遮音壁設置等について、関係機関協議を踏まえた施工に一定程度の時間を要しているところ。
- ※社会情勢について大きな変化は見られない

## 4. 事業の効果等

- ・一般部及び並行する幹線道路の交通量が約3割減少(本線部へ交通が転換)。
- ・交通の転換に伴い、周辺道路の死傷事故が2割減少し、交通安全性が向上。

## 5. 事業の投資効率性

【事業全体】	(前回)	(今回)
総便益B	1,412億円	1,576億円
総費用C	924億円	1,055億円
B/C	1.5	1.5

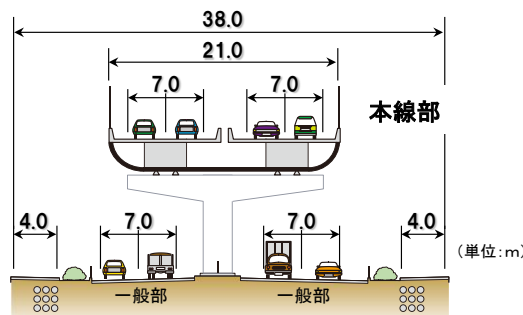
## 6. 概要図



位置図



標準横断面図



## 7. 対応方針(原案)

- ・事業継続とする。
- ・本事業は、交通渋滞の緩和、物流効率化の支援、生活環境の改善等の観点から、事業の必要性・重要性が高く、早期の完成に向け事業を推進することが妥当と考える。